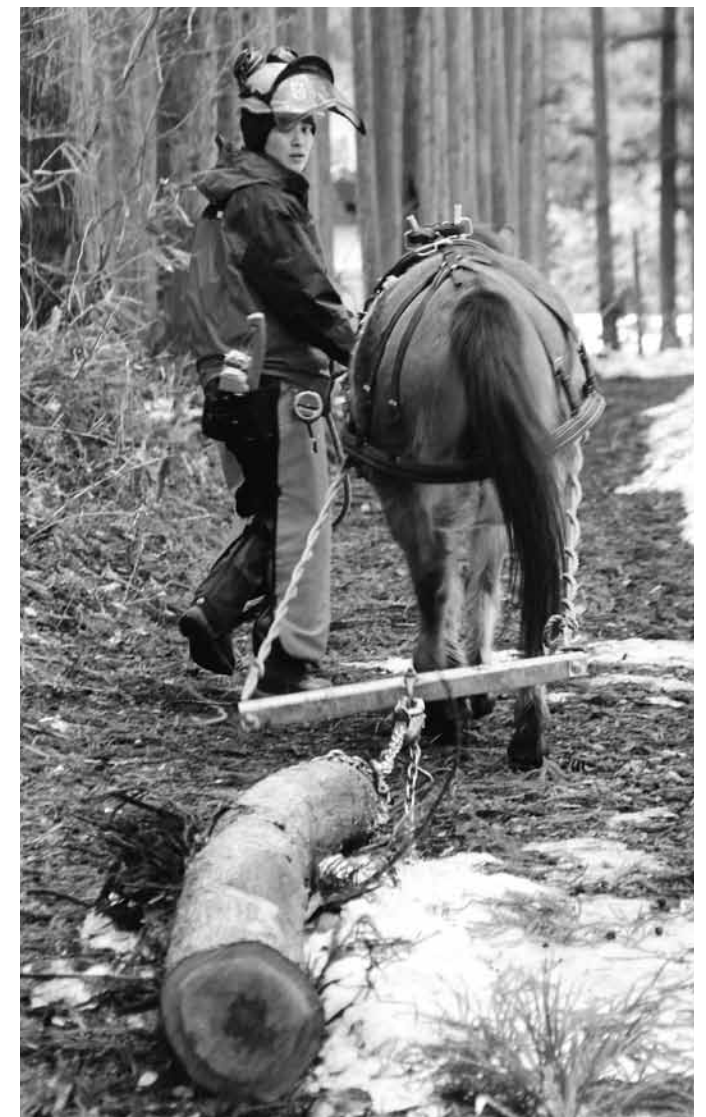


# ぴかいち

人、物、技、場所などを選び出して紹介するコーナー「ぴかいち」



## 鳴子温泉の森で 「馬搬」を 復活させたい

NPO法人しんりんスタッフ  
宮城きこり女子会発起人  
田手 扶紀 さん(鳴子温泉地域)



機械化が今ほど発達していなかった時代は、馬や牛の力を借りて田や畑を耕し、人や荷物を運搬しました。日本の高度成長期以前に見られた光景で、生活を営むうえで大切なパートナーとして、牛や馬は、家族同様に大事にされてきました。

特に、木材として使用する木を山から効率よく切り出すには、急な斜面や切り株などの障害物、狭い作業環境をもとめず、力が強く小回りがきく、馬が重要な役割を果たし、人馬一体となって行う「馬搬」という技術(職業)が発達しました。

しかし、大量消費時代とともに機械化が進み、輸入木材の需要が伸びると、馬搬に関わる人が減り、技術の継承も難しくなりました。近年、馬搬という言葉は、耳慣れないものになってしまいました。



いる女性がいます。仙台市出身の田手扶紀さんがその人です。現在、森林や里山の自然資源を有効に活用しながら保全活動にも取り組む「NPO法人しんりん」の一員として、事務も行いながら、木材の伐採や馬搬の修行を重ねています。

東日本大震災後、地元宮城県で仕事を探そうとした田手さんですが、山林の中で安全を確保しながら馬に木を運ばせる技術は難しく、今は、岩手県遠野市の馬搬を生業とする人のもとに毎月のように通い、仕事を手伝いながら、技術習得に励んでいます。

「馬が好きで、馬と仕事をしたい」と飛び込んだ世界ですが、木材の伐採作業や馬搬の技術習得はまだこれから。里山や森林の保全是、50年から100年の期間がかかるので、腰を据えてじっくりと取り組んでいきたいと田手さん。実際に山に入ると、森が荒廃していることがよくわかり、山や森がもたらしてくれる恩恵を次の世代へ大切に引き継いでいくためにも、馬搬が旗印となって、自然や山林に興味を持つきっかけになりたいそうです。

全国実力薬局100選受賞

今年こそママになりたい!

二人だけで悩まず、まずはお相談ください。  
妊娠しやすい体づくり

漢方で

漢方の専門家があなたのお悩みを丁寧に伺います。

ご予約はこちら 0229-23-1262 漢方相談 カワシマ薬局

詳しくはホームページへ <http://kanpo-kawashima.com>

アパマンショップ全国ネットワークで理想のお部屋へナビします

アパマンショップ古川駅前店

創業 昭和47年  
不動産と建設の総合力で地域に貢献いたします。

株式会社 古川土地

TEL.0229-23-8484

0120-2-8484-2 (携帯・PHSからも通話可)